

# THE 'LONGINES' WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

(for 3yos and upwards which raced between 1st December 2012 and 9th June 2013)

The official listing of the world's best racehorses  
(covering the period 1<sup>st</sup> December 2012 to 9<sup>th</sup> June 2013)

引退したばかりの伝説的なオーストラリア調教牝馬、**ブラックキャビア(130)**が、ウッドフォードリザーブターフクラシック(G1)を制し、G1連勝記録を5に伸ばした米調教馬**ワイズダン(129)**を抑え、ロンジンワールドベストレースホースランキングのトップとなった。傑出したこの2頭は北半球で佳境を迎えつつある3歳クラシック世代にとってこの先の大きな目標となっているのである。

現時点でヨーロッパの3歳トップは、英2000ギニー(G1)を制した愛調教馬で2012年ヨーロッパ2歳チャンピオンである**ドーンアプローチ(125)**だ。同馬に続くのが、愛2000ギニー(G1)を制し進境著しい愛調教馬**マジシャン(122)**である。

クラシックディスタンスの部門でも、この先の活躍が非常に楽しみな馬が登場してきている。英ダービー(G1)を制したのは愛調教馬**ルーラーオブザワールド(120)**で僅かキャリア3戦目での勝利だった。また、仏調教馬**アンテロ(120)**は仏2000ギニーでは不運な敗戦を喫したが、仏ダービー(G1)で雪辱を果たした。

他にも東京優駿(日本ダービー)(G1)を制した日本の**キズナ(119)**も今後楽しみな一頭である。

北米の3冠競走は全て異なる馬が制したが、ケンタッキーダービー(G1)を制した**オーブ(121)**が、ブリークネスS(G1)を制した**オックスボウ(119)**やベルmont S(G1)を制した**パレスマリス(119)**よりも、この2競走では2頭の後塵を拝しているものの、現時点ではわずかではあるが上の評価を得ている。

アジアでは、香港調教馬2頭がシンガポールのクランジ競馬場における競走でここまでにベストとなるパフォーマンスを見せた。4月にクイーンエリザベスII世カップ(G1)を制した**ミリタリーアタック(124)**は、シンガポール航空国際カップ(G1)ではさらに圧巻のパフォーマンスを見せた。また、同じ香港の**ラッキーナイン(120)**もクリスフライヤー国際スプリント(G1)を楽勝している。

南アフリカ調教馬の**ワットアウインター(120)**はコンピュータフォームスプリント(G1)を制し、南アフリカのベストスプリンターとしての地位を確固たるものとした。また、日本のトップスプリンター、**ロードカナロア(120)**は距離延長にもかかわらず安田記念(G1)を制する見事なパフォーマンスを見せた。